

寄せられています
地域の方の力



3月24日(月) 木島児童館では、木島食文化の会の皆さんの指導によるケーキ作りがありました。地元の方々のボランティアにより子どもたちの食べ物への関心はどんどん高まっています。

飯山市がもつ天賦の

財産を生かしながら、

「誰もがここで自分らしく暮らせる福祉」のまちづくり

平成20年度

事業計画

実施にあたり

飯山市社協会長
岸田 勉

今私たちを取りまく状況は大変厳しいものがあります。米国の中低所得世帯向け融資、サブプライムローン問題に端を発する経済の先行き不安。人口の少子高齢化問題。年々増加する医療、年金や介護ニーズに対応した社会保障改革や財政改革の方向が未だ見いだせ

ない。こうしたなか、「誰もが住み慣れた場所で自分らしく暮らせる福祉」のまちを實現するためには、「公助」に頼るだけでなく、「自助」「共助」の精神が大切です。飯山市の住民は厳しい地理的・自然環境のなか、生活していくために必要な「とうど」や「ゆい」などの「共助」の習慣や、「自助」の智慧を古くから大切に引き継いできています。社会福祉協議会は、民間の社会福祉活動を推進することを目的とした営利を目的

「参加ください」 平成20年度 新規事業

- ・はつらつ高齢者仕事場づくり事業
- ・団塊世代の教養講座
- ・障害者のスポーツ大会フロアーホッケー
- ・子育て「緊急サポートネットワーク事業」
- ・10代、自分をもっと輝か

的としらない民間の組織で、社会福祉法に基づき、それぞれの自治体に唯一設置が許されている組織です。平成20年度飯山市社協は本市がもつ天賦の財産を生かしながら、次に掲げる各事業を通じて、住民と共に「誰もが住み慣れた場所自分らしく暮らせる福祉」のまちづくりを進めます。左ページ参照

- せるプロジェクト
- ・笑顔溢れる飯山つ子育て事業
- ・パパを楽しもう！子育てのススメ
- ・青少年先進地派遣事業
- ・全国からの愛のプレゼント事業
- ・愛のクーポン券贈呈事業(旧歳末激励事業)
- ・飯山市福祉センタースタートイベント

いつも学習を欠かしません 聴覚障害者協会飯山支部



3月12日(水) 飯山市総合福祉センターで、学習会が開かれました。今回は「年金記録問題について」社会保険事務局の職員から説明がありました。聴覚障害者協会飯山支部(本木理恵支部長)では、みゆき野手話サークル(渡辺洋子会長)の協力を得て必要な学習を重ねています。

みんなの願い 平和な日本

第53回 慰霊法要

日時 4月25日(金) 開会 午後2時40分
会場 飯山市民会館

どなたもお誘いあわせて
ご参加下さい。

平成20年度飯山市社会福祉協議会事業計画

財政基盤、組織基盤の整備

- ・会員制度の充実 全戸会員制度の充実
- ・会費600円30%を各地区社協へ交付金還元
- ・地区社協との活動の連携
- ・地区社協会長・幹事合同会議の開催
- ・地区社協活動推進事業補助
- ・地域福祉活動計画の策定
- ・財政基盤の確立
- ・財団等からの事業に対する補助金の確保(新)
- ・事務局機能移転に伴う業務
- ・飯山市福祉センター スタートイベント(新)
- ・飯山市総合福祉センターの管理

社会福祉関係機関・団体との連携強化

- ・民生児童委員協議会をはじめ福祉関係機関 団体 施設等との連絡調整
- ・社会を明るくする運動への参加と協力

福祉に関する住民意識の高揚を目指す啓発宣伝

- ・「社協だより」ボランティア情報紙「メガホン」の発行
- ・第53回飯山市社会福祉大会の開催
- ・ふれあい祭の開催 生活改善の推進

住民参加による地域福祉、在宅福祉の総合的推進

- ・高齢者福祉事業
 - ・老人福祉センター「湯の入荘」ケアセンター「湯の入」の運営と管理
 - ・長寿祝品の贈呈(米寿88歳、白寿99歳)
 - ・はつらつ高齢者仕事場づくり事業(新)
- ・障害者福祉事業
 - ・心身障害児母子通園施設「ゆきんこ園」の運営事業
 - ・車イス用ストレッチャー付き自動車 車いすの貸出し
 - ・ふれあいバスハイク、スポーツ大会(新)の実施
- ・児童福祉事業
 - ・児童センター(館、クラブ)北部子育て支援センターの運営
 - ・☆わくわく!!とうど塾☆の開講(財源 会費)
 - ・児童虐待防止事業(財源 共同募金配分金、会費)
 - ・子育て「緊急サポートネットワーク事業」(新)
 - ・10代、自分をもっと輝かせるプロジェクト(新)
 - ・笑顔あふれる飯山つ子育て事業(新)
 - ・パパを楽しもう!子育てのススメ事業(新)

- ・青少年先進地視察事業(新)
- ・住民支えあい活動事業
 - ・見守り活動の推進 見守りとうど衆地区別研修会、災害時支えあい事業 ふれあい懇談会
 - ・有償在宅福祉サービス「くらしの応援スマイルとうど」
 - ・見守りほのぼの弁当サービス
 - ・全国からの愛のプレゼント事業(新)
 - ・寺町・雪国道場(仮称)の開催
- ・相談事業 総合相談 心配ごと相談事業
- ・日常生活自立支援事業
 - ・判断能力の低下した方へのサポート事業
 - ・福祉サービスの相談、金銭取り扱い、書類預かり等
- ・福祉教育推進事業
 - ・社会福祉普及校の指定と連絡調整
 - ・やさしい心を育てる懇談会の開催
 - ・施設体験教室(サマーアクション・ボランティア)
- ・援護事業
 - ・愛のクーポン券贈呈事業(新)
 - ・介護サービス スマイルとうど利用券 買い物補助券等
 - ・生活福祉資金貸付事業
 - ・福祉金庫事業
 - ・被災者・交通災害遺児に対する激励と見舞
 - ・戦没者開拓殉難者慰霊法要の開催

利用者の立場に立った介護保険事業の推進

- 1) 新介護センターの開設
- 2) 居宅介護支援サービス
- 3) 訪問介護(ホームヘルパー) サービス
- 4) 訪問入浴介護サービス
- 5) 通所介護事業(サービス:あじさい、ゆきつばき、常盤、瑞穂)
- 6) 短期入所生活介護事業(ショートステイ)
- 7) 介護予防

ボランティア活動の推進

- ・ボランティア活動の把握及び調整及び支援
- ・団塊世代の教養講座(新)
- ・善意銀行の運営 善意の金品労力の受託と管理、指定による配分
- ・福祉基金の造成と果実の運用 造成目標1億円 現在7,200万円
- ・ボランティアコーナーの利用促進



「いままでの訓練の成果を土台にし、飛躍していく」という決意の中での閉所式でありました。ここに今までの協力いただいたみな様にご報告し、深く感謝申し上げます。

一人ひとり輝いて「すばる」だった「すばる」閉所式

飯山市地域活動支援センター「すばる」は「飯山市障害者・老人共同作業センター」という名称で昭和58年に戸狩でスタートしました。愛称を一般公募して、「すばる」と決定したのは、平成11年のことでした。一人ひとりが輝いて集まり、すばるのように大きな星になることを願って命名されたものです。

24年もの長い間、地域のみな様に支えられ、仲間同士協力し励まし合いながら、自分たちの仕事を一生懸命してきたすばるが閉所の日を迎えました。